

馬渕・田中・鈴木

アジェンダ

- コンセプト
- アプリ紹介
- 意図・背景
- デモ
- 実装について
- バイセルでやる理由

コンセプト

「お金のない人にも気軽に趣味を」

作ったもの

趣味コミュニティプラットフォーム「しゅみろん」

なんのアプリ?

なんのアプリ?

- 趣味ごとのチャット画面で趣味を通じて交流する
 - 最新情報・おすすめの道具などの情報を交換しあう
- 実際にその趣味を始めてみたいと思ったら
 - 「レンタル」ボタンから簡単にレンタルの予約
 - 気軽にバイセルから機材をレンタルできる
- ニーズに応じて拡張できるプラットフォーム

なんでこのアプリを作っ たのか?

今回のお題

「若年層 (20代) 顧客を獲得するための新規WEBサービスを開発」

若年層の特徴は?

若年層の特徴

- お金がない
- 趣味が欲しい・作りにくい
- SNS·流行に敏感
- 物欲がある
- 時間がない
- 部屋が狭い・一人暮らし

若年層の特徴

- お金がない
- 趣味が欲しい・作りにくい
- SNS・流行に敏感
- 物欲がある
- 時間がない
- 部屋が狭い・一人暮らし

特にこの部分に着目

バイセルでできることは?

バイセルでできること

豊富な商品

- 全国からたくさんの商品を買い取ることができる
- たくさんのモノを持っている

安く提供

- 新品よりも安く提供できる
- リユース品ならではの特徴

若年層にバイセルが 提供できる価値は?

「趣味が欲しい人たちを繋げて道具を安く提供する」

コンセプト

「お金のない人にも気軽に趣味を」

デモ

ユーザー画面

- トップページ:コミュニティの一覧
- チャットページ:メッセージのやり取りで最新情報・道具の情報などを交換し合う
- レンタル一覧ページ:バイセルの豊富な在庫の中からレンタルできる商品を選べる
- レンタルページ:フォームを入力して簡単にレンタルの予約ができる

管理者画面

- レンタル管理一覧ページ:レンタルしたい人の情報が一覧で管理できる
- レンタル詳細ページ:レンタル情報の詳細・編集画面が表示される

ダーツ

レンタルページに移動





レンタル詳細情報



今回の開発のスコープ

- 自分達のプロダクトのバリューは何かを突き詰める
 - 本当に必要な機能に絞って実装
 - MVP (Minimum Viable Product: 顧客に価値を提供できる最小限のプロダクト)
- 拡張性を持たせれるような設計・開発

今後の開発予定

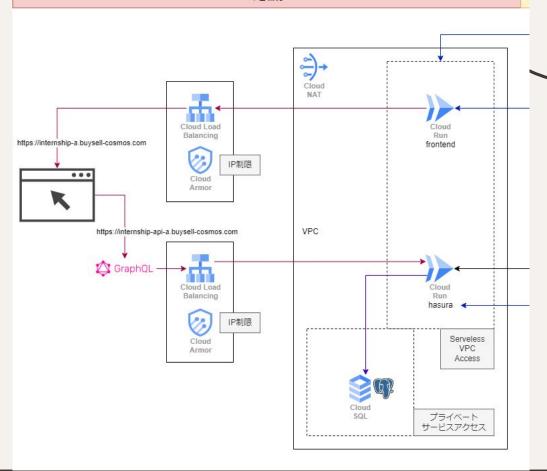
- ユーザーアカウントの作成・管理
- リアルタイムチャット
- 決済の実装
- 管理者ページの充実
 - レンタル品の追加・削除・更新
- ランキング機能
- レビュー・コメント機能

実装に盛り込むか検討した機能ばかり

期間内にできることを考え、 コアな機能は何かを突き詰めた結果 実装できなかったこと

アーキテクチャ

- フロントエンドは Next.js(TypeScript)
- Hasuraを使用したため バックエンドは開発の必要なし
- Hasuraを利用して、テーブル の作成やGraphQLのスキーマ の生成
- GraphQLを利用してDB からデータを持ってくる



アーキテクチャ選定理由

期間内に作りきるため、今あるリソースを最大限に利用した

- 環境構築がインターン開始前に組んであったため、すぐに実装に移れる
- Hasuraを利用することで、バックエンドの実装をせずに済む
 - メンバー全員でフロントエンドに集中できる
- メンバー全員がReact経験者

なぜバイセルでやるのか?

新しい挑戦

- バイセルにはまだレンタルのサービスが少ない
 - リユース品のレンタルには需要がある
 - バイセルなら幅広い商品をレンタルでき、新しい強みになる
- リユース業界を知ってもらうきっかけに
 - アドバタイズの効果を狙う

既存サービスの強化

- バイセルの買取商品の幅を広げることができる
 - レンタルに出せるという前提で買取ができるようになる
- レンタルしてもらったものを気に入って貰えば、購入できるフローも繋がる
 - ブックオフではレンタル品の三割が購入している

https://www.recycle-tsushin.com/news/detail_6354.php

拡張性のあるプラットフォーム

- 世の中で何が「バズる」のかを予想するのは難しい
 - 拡張性のあるプラットフォームを持っておけばすぐに対応できる
- 今回はレンタル機能を新しく提案したが、もっと拡張できることはある
 - ユーザー同士の商品の売買のサポート
 - サブスクでのレンタル
- 売買だけではなく、ユーザーが自由に使うプラットフォームを観察できる
 - 潜在的なニーズの発見へ

バイセルでやる理由

- 新しい挑戦
- 既存サービスの強化
- 拡張性のあるプラットフォーム

絶対にバイセルで価値を生み出すと信じてます!!